

めいじ自治連

第63号 令和6年12月25日

発行人：明治地区自治町内会連合会

会長 三觜 清次
(事務局)

明治市民センター 地域づくり担当

電話0466-34-3444

ふるさとまつりについて

第45回明治地区ふるさとまつりが10月26日(土)、10月27日(日)に明治市民センターと土打公園で開催されました。ふるさとまつりは、明治地区の30ある自治町内会が一つにまとまる一大イベントです。今年も恒例となりましたビンゴ大会が大盛況でした。安くて美味しい焼きそば、焼き鳥、たこ焼き等には、お客様の長い列が出来ていました。

健康プラザ屋外ステージでは、サークルの方々による日頃の練習の成果を披露され見事でした。センター長による「バナナの安売り」の口上は、プロも顔負けするほどで、意外な一面を見せていただきました。

衆議院選挙と重なり、スペース確保のためミニSLが中止になったことが誠に残念でした。

三觜実行委員長による閉会の挨拶で披露されたまつりの最後を締めくくる木遣り唄が会場に響き渡り聞き入ってしまいました。

各自治会の皆様におかれましては、前日の準備や当日の催しものにご協力いただき、誠にありがとうございました。



ビンゴ大会の様子



自治町内会紹介 羽鳥丸山町内会

羽鳥丸山町内会は、羽鳥2丁目にある昭和40年ごろに開発された旧大洋住宅分譲地に住む方々により構成された町内会です。

最近では町内会内どこかで新築・建て替え工事が行われており、開発当初多かった空き地もほぼなくなり、駐車場であった場所も宅地化されつつあるという状況です。

町内会活動は住宅地開発当初からスタートしており、現在、親・子供・孫世代あわせて約210世帯が加入しており、13組に分かれて活動を行っております。住民同士で協力して安全・環境活動や周辺地区との交流などを行い、誰もが安全かつ安心して暮らせるような環境づくりを目指して活動しております。季節行事毎に町内会内にプロジェクトサポートチームを結成し協力して行事に参加しておりますが、現在はコロナ禍以降規模を縮小したり休止したりしておりとても残念です。徐々にでも元に戻れるようにできればと考えております。

現在の主な課題として、町内会内交通量増加による通学路安全確保及び最近首都圏で頻繁に発生している強盗事件対策があげられます。町内会内に注意喚起をお願いするとともに防犯パトロールを実施して対策に努めておりますが、さらなる対策が必要と考えております。

今後は上記課題とともに、高齢化・防災活動に対しても町内会だけではなく、藤沢市及び明治地区のみなさんにご協力いただきながら活動を進めていきたいと考えております。今後ともよろしくお願い致します。

郷土づくり推進会議ニュース

明治地区郷土づくり推進会議では「明るく楽しい未来を創るまち明治」をテーマに郷土愛あふれるまちづくりを進める為、4部会に分け活動を行っています。(1)安全安心部会では、地域内歩道の危険個所について歩行者の安全確保のため、歩行者、自転車の区分等、改善要望の調査を行っています。(2)健康生きがい部会では、今年も誰もがいつ迄も健康でいきいきと生活できる環境づくりを目指して、地域内の公園などで健康体操や健康生きがい講座などの取り組みを推進しています。(3)子ども子育て部会では、子どもたちが、いきいき遊び、学び、成長できる様々な取り組みを行っています。子ども見守りチャレンジについてはデジタルを活用して、子どもたちの安心安全を確保する為の実証実験をSOYLINKと協働で実施しております。(4)歴史文化部会では、明治地区の歴史や文化を周知し後世に継承する活動を通して郷土愛育お環境づくりを図っています。また、明治郷土史料室開設20周年を令和8年度に迎えるにあたり、令和7年度より様々な事業について、実行委員会を設けて史料室と協働で実施する方向で検討を進めています。

明治郷土史料室だより

平成17年7月、明治市民センター旧庁舎で明治郷土史料室運営委員会が発足しました。翌18年11月、新庁舎が完成し、明治郷土史料室が開設されました。オープン記念展示は「小笠原東陽と耕餘塾」(平成19年3月28日～9月30日)を企画しました。令和7年は令和8年度の明治郷土史料室開設20周年を迎えるにあたり、明治5年、藤沢市の教育の先駆けとして、羽鳥の地に漢学者小笠原東陽を招き、開設した耕餘塾の教育に焦点をあて、その後耕餘塾をはじめりとして、明治地区における小中学校の成り立ちなどの流れを一覧表にまとめ企画展示を予定しています。

展示期間：令和7年1月15日(水)～3月29日(土)

時 間：午前10時～午後3時まで(日、月曜日休み)

視察研修

明治地区自治町内会連合会、明治地区自主防災協議会合同の視察研修として、気象庁気象科学館、東京消防庁本所防災館を訪れました。

気象科学館のみなと科学館では、津波シミュレーターにて、水中の波のスピードや沿岸部への侵食など、水の動きの実験を通し、津波の威力を感じることができました。また、アメダスの観測機器の展示が多数あり、人間の手や目に頼ることなく、機械やセンサーによって、データを収集していることを知りました。

防災館では、職員のテキパキとした指示のもと、水害時、10センチ、20センチと、水が溜まっている時、水圧で重くなったドアを開けるコツをレクチャーいただき、もしもの時に備えることができました。火災時、煙の中での対処法や、暴風雨の様子を見ることもできました。

一番印象に残っているのは、地震体験です。震度7の揺れは、「だんごむしの体勢(頭を抱えて床に肘を付いてを身体を小さくする)」をして、身を守るように指示をいただくも、想像を超える大きな揺れに、なす術なく、ただただ時が過ぎるのを待つような状態でした。大震災を経験しないに越した事はありませんが、将来の有事に多少なりとも知識を持っておくことが、いかに重要であるかを実感しました。また、阪神大震災では、瓦礫の下敷きになった方の8割は、近所の住民によって助け出されたという話を伺い、近隣住民の助け合いがいかに強い力になるかを知りました。今回の体験を通し、防災に対する意識を上げることができました。



編集後記

めっきり寒さが厳しくなりましたが、今年のふるさとまつりは選挙と小学校の運動会と重なり、急遽計画変更を余儀なくされ、慌ただしい準備でしたが無事終了することができました。これもひとえに自治町内会会員様と参加団体ご一同のご協力の賜物と感謝しています。

～明治地区自治町内会連合会 編集委員一同～